



平成22年8月12日

各 位

会社名 メルシャン株式会社
代表者名 取締役社長 植木 宏
(コード番号2536 東証・大証 第一部)
問合せ先 CSR・CC推進部長 横山 清
TEL 03-3231-3910

財務報告に係る内部統制の重要な欠陥に関するお知らせ

当社では、平成22年3月25日に提出いたしました第93期(自平成21年1月1日 至平成21年12月31日)内部統制報告書の記載事項に誤りがありましたので、金融商品取引法第24条の4の5第1項に基づき、内部統制報告書の訂正報告書を提出いたしますが、同訂正報告書において内部統制に重要な欠陥がある旨を記載することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

1. 重要な欠陥の内容

当社水産飼料事業部において不適切な取引が行なわれていた疑いが平成22年5月に生じ、その実態及び損失額を調査するため、5月21日に社内調査委員会(委員長:取締役社長 植木宏)を設置いたしました。同委員会の調査で判明した事実により当社は、不適切な取引が及ぼした決算への影響額を調査し、過年度の決算を訂正するとともに、この決算訂正の結果として過年度における繰延税金資産の回収可能性に関する判断、固定資産減損会計適用に関する判断を見直し、平成17年12月期中間期から平成22年12月期第1四半期までの有価証券報告書、半期報告書及び四半期報告書について訂正報告書を提出いたします。

過去複数年度にわたる決算の訂正となったことは、当社の財務報告に係る内部統制に重要な欠陥があったため、不適切な会計処理が行なわれ且つその発見に遅れを生じさせたものと認識しています。

2. 重要な欠陥の是正について

当社では財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、社内調査委員会の調査結果を踏まえ、財務報告に係る内部統制の不備是正策の策定・実行に着手しております。また、8月末発表予定の第三者委員会(委員長:赤松幸夫弁護士)最終報告での、内部統制上の原因究明、再発防止策の検討並びに経営責任に関する提言を踏まえて、さらなる是正措置・再発防止策を講じてまいります。

尚、本件に関する緊急確認措置として、また、再発防止策として、当社がすでに実行

している取り組みは以下の通りです。

[緊急確認措置]

他の事業に関して不適切取引及び不正のないことを確認するために以下を実施しました。

- ・当社及び国内連結子会社の棚卸資産について実地棚卸を実施し、実在庫と帳簿在庫の一致を確認しました。
- ・当社及び国内連結子会社に対して、売掛債権・棚卸資産の残高推移や滞留月数などの状況調査を実施し、残高の適正性を確認しました。
- ・国内連結子会社に対して内部監査を実施し、各社の財務諸表が適正な財務状況等を表示していることを確認しました。

[実行済及び実行中の再発防止策]

・コンプライアンスの再徹底

経営理念を再確認し、信頼回復へ全社一丸となって取り組むよう、全従業員に対して社長からメッセージを配信、企業理念やコンプライアンスについて記載したカードを再配付しました。また、職場単位のコンプライアンスミーティングを実施しました。

・リスクマネジメントの強化

リスク識別・評価に客観的な視点を加えるなど、より有効なリスクマネジメントシステムとするための準備段階として、各部門によるリスク棚卸及びリスク対応策の見直しを実施しました。

以 上